

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和7年4月1日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名
経理責任者名
(又は議員名 深町 善文)

令和6年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり
令和6年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

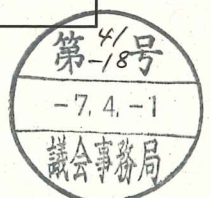
令和6年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入
政務活動費 480,000 円

【内訳 40,000円×12月 】

2 支出 443,028 円

3 残額 36,972 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	0	会場費	0	
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	0	
		交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	3,410	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	3,410	
資料購入費	0	資料購入費	0	
広報費	439,618	広報紙等印刷製本費	234,850	
		送料	204,768	
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

(別添様式1)

政 務 活 動 費 收 支 報 告 明 細 書

（会派（議員） 深町 善文 ）

(資料作成費、 1 枚中 1 枚)

[illegible]

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 深町 善文)

(資料作成費、No.1)



2024年10月29日

領 収 証

深町 善文 様

金 額 ￥3,410 -

但し

消費税等310円含んでおります

発行者



株式会社 エディオン
登録番号: T3240001041231
(作成地)
大阪府大阪市北区中之島二丁目
3番33号



No.007488578
発行店 飯塚店
電話番号 0948-26-0725

金種	内訳
現金	3,410
クレジット	0
ギフト券等	0
ポイント	0
振込	0

10%対象 ￥3,410
10%対象消費税 ￥310

お買上明細書

発行日 2024年10月29日(火) 12:48
店: 00973 飯塚店
登録番号: T3240001041231
電話 0948-26-0725
レジ担当者: 深江 新吾
販売担当者: 深江 新吾
No. 00973-007-488578 POS: 007
取引種別: 持帰

プリンタ消耗品
キヤノン
BCI-370XLPGBK2P
4549292044072 1 ￥3,410
合計金額 ￥3,410
(10%対象 ￥3,410)
(10%対象消費税 ￥310)

現金領収額 ￥3,410

お預り ￥5,000

お釣り ￥1,590

今回ポイント 31ポイント
このポイントはエディオンカード・
IDカード会員様のみ有効です。

商品の返品・交換につきましては
必ずこのレシートをお持ち下さい。
お持ちでないと対応致しかねます

上記「お買上明細書」の金額はお買
上金額を表示するもので、領収金額
とは異なる場合がございます。



(別添様式1)

政 務 活 動 費 收 支 報 告 明 細 書

・ (会派 (議員) 深町 善文)

(広報費、 1 枚中 1 枚)

[illegible]

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 深町 善文)

(広報費、No.1)

領 収 証

令和 6年 10 月 28 日

深町善文 様

金額	百万	十万	万	千	百	十	円
	¥	2	3	4	8	5	0

但し 活動報告・封筒 税含

上記の金額正に領収いたしました

有限会社 嘉麻綜合印刷

〒820-0068 飯塚市片島1丁目10番地14
TEL (0948) 22-0898
FAX (0948) 28-0864

現金	レ
手形	
小切手	
その他	



(広報費、No.2)

深町善文様

Kp

納品書

令和6年 10 月 21 日

下記の通り請求いたします。

(有)嘉麻綜合印刷

取締役 木本 敏子

〒820-0068 福岡県飯塚市片島町目10-14
Tel 0948-22-0898 / Fax 0948-28-0864

合計 ￥39,600— 円也

取引銀行／飯塚信用金庫 本店営業部 普 1064213

品名	呼称	数量	単価	金額
長3パステルアクア80g	枚	2000		36000
1/0横				
		消費税 10%入		3600
合 計				39600

深町善文様

Kp

納品書

令和 6 年 10 月 25 日

下記のとおり請求いたします。

(有)嘉麻綜合印刷

取締役 木本 敏子

〒820-0068 福岡県飯塚市片島1丁目10-14
Tel 0948-22-0898 / Fax 0948-28-0864

合計 ￥195,250— 円也

取引銀行／飯塚信用金庫 本店営業部 普 1064213

品名	呼称	数量	単価	金額			
活動報告書A3カラー	枚	2500	71				177500
11月（5号）							
コート73 ^キ 2つ折後 z 折							
		消費税 10%					17750
合 計							195250

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 深町 善文)

(広報費、No.3)

(領収証等貼付箇所)

領収書

深町 善文 様

[別納引受]	
区内特別基 (定)	16.0g
@96 2,133通	¥204,768

小 計	¥204,768

郵便物引受合計通数	2,133通
課税計(10%)	¥204,768
(内消費税等(10%))	¥18,615)
非課税計	¥0

合計	¥204,768
お預り金額	¥204,768

印紙税申告納

付につき麴町

税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2024年11月 1日 10:26
発行No. 241101A7907 端N89箱01
連絡先: 穂波小正郵便局
TEL: 0948-22-0991

=くらしの声を市政に届けます=



飯塚市市議会議員 よしふみ
ふかまち善文

**活動
報告**

〒820-0079 飯塚市高田654番地
TEL&FAX 0948-24-2926

発行責任者 深町善文
2024年11月(第5号)

『穂波西ICのフル規格化』は飯塚市全体の発展に寄与!! 実現に向けて粘り強くはたらきかけます

今年の夏も猛暑日が続き、皆様におかれましては暑さ対策に大変ご苦労されたと思います。

私は飯塚市の議員として6年目を迎えました。これまでのご支援とご協力にあたためて感謝を申し上げ、令和6年度の活動報告をさせていただきます。

今後も農業振興・企業誘致活動に積極的に取り組みます

今年の3月の議会では武井政一新市長による令和6年度の施政方針が示されました。主な内容としては「ふるさと応援寄附金」が過去最高額に達し、3年連続で県内1位である、との報告がありました。

今後の取組としては①子育て支援では市内在住の0歳から2歳児までの、第2子以降の保育料無料化の実施②都市基盤整備では八木山バイパス4車線化の早期完成及び穂波西ICのフル規格化実現に向けて国・県へ更なる働きかけを行っていく③市内県道の整備では県道飯塚穂波線をはじめとする各路線の整備④水道事業では重要給水施設である津原導水管の更新事業を実施する⑤ゆめタウン進出に合わせて飯塚駅周辺地域を整備(駅舎自由通路の設置、駅前広場の整備等)を行う等、多くの方針が示されました。

今後、武井市長の選挙公約や今回示された施政方針の実現に向けた取り組みを見守っていきます。

令和6年度の予算では一般会計・特別会計・企業会計合わせて1449億5千万の予算案が計上され可決されました。その中には大將陣公園横に4面の広さのグラウンドゴルフ専用の広場新設(10月24日オープン)や物価高

対策交付金13億7千4百万円の支給が含まれています。

私は1期目と同じく経済建設委員会に所属していますが、経済建設委員会の役割の一つに企業誘致があります。旧筑穂町あかね工業団地整備をはじめとする誘致活動に、積極的に取り組みます。また農業の振興については引き続き過疎化や高齢化による農業インフラ整備・持続可能な農業経営を図る為、農地や農作物に深刻な被害を与える有害鳥獣の駆除等に取り組んでいきます。

議員定数は28議席から4議席削減で決着

令和1年から4年をかけて議員定数のあり方について、審議してきましたが、令和6年3月の議会(特別委員会)で現在の議員定数28議席を24議席にすることが決定しました。これまで市民へのアンケート調査、有識者への意見聴取等を実施し検討の結果、民意を反映した形での決着となりました。

最後になりますが、ようやく「コロナ」前の生活に戻り、今後は皆様の声を聞く機会を更に増やし、くらしの声を市政に届けていきたいと思っています。



令和6年6月定例会より

主な活動報告

要望事項への取り組み

● 県道60号線（飯塚大野城線） 旧しょうけ茶屋付近 農業用水路蓋設置

農業者主体（生産組合）で春の田植え前に水路の草刈り・泥上げを行ってきたが、高齢化等で作業者が減少すると同時に、付近の水路には従来から落葉や土砂が堆積して、除去作業には難儀していました。令和4年4月行政へ水路に蓋の設置を要望。蓋のサイズが規格外であったこともあり、時間がかかったが、令和5年3月、蓋の設置が完成。今回蓋が設置されたのは約80m（水路全体の30%）。今後も設置個所の延長を要望していきます。



『蓋』設置前の用水路

● 内住川（高田1号橋～城林井堰） 浚渫工事

これまで城林井堰付近に泥が堆積し、葦の繁茂もひどく隣接する用水路への通水に支障をきたしていました。このような状況から令和4年5月福岡県土木事務所に内住川浚渫工事を依頼。浚渫工事は令和5年2月に着手となり、4月中旬完了しました。川底に土砂や泥が堆積すると川の流れが妨げられ水位が上昇。氾濫の危険性が高まってきます。下流域には土砂の堆積・雑草の繁茂部分が残されており、今後も浚渫工事を続けていきます。



城林井堰の現在の様子

県外視察活動の紹介

★ 滋賀県米原市（米原市の空家対策の現状と課題）

米原市は滋賀県唯一の新幹線駅を有し、西に琵琶湖、北に伊吹山が聳える位置にあり人口約3万8千人、面積250km²の自然豊かな地域です。米原市でも人口減少や少子高齢化が進み、高齢者単身世帯の増加で、将来的に空家増加が懸念されています。米原市は新幹線や高速道路などの交通の要衝であり、名古屋・京都・大阪等の大都市とのアクセスは良く、大都市からの移住促進に力を入れています。また民間事業者との連携協定を結び空家の啓発「空家にしない、させない、ほっとかない」を基本理念にした適正管理・活用、空家対策の取り組みについて説明を受け、意見交換を行いました。

米原市の空家活用推進スローガン『空家は放置すれば負の遺産 活用すれば地域の宝』

令和5年10月17日（米原市）



★ 大阪府大東市（大東市北条まちづくりプロジェクトについて）

大東市は大阪中心地へのアクセスが約10分と利便性が良く、自然も豊か。人口11万で飯塚市とほぼ同じ規模。大東市も人口減少・高齢化が進んでいて、公共施設の老朽化、地域コミュニティの担い手不足など課題をかかえていました。大東市は「自分でつくったまちに住む」を開発理念に、公民が連携しエージェント手法を用いて全国初の市営住宅建替え事業を行ってきました。建物は民間事業者が所有し、市は市営住宅として借り上げ、再開発の際は市が公園、民間事業者が賃貸住宅、商業施設などを整備し『まち』全体のコミュニティとしての価値を高めようとするものです。今後、飯塚市の市営住宅の建替え・再開発や市有地の活用等に参考になるのではないかと、思います。

令和5年10月16日（大東市）



経済建設委員会の活動

* 委員として議案の審査、所管案件についての事務調査などを行いました

★ 経済建設委員会

令和6年4月26日・・・『飯塚市の産業振興と観光について』現地視察を行いました。

- サンビレッジ茜の現状（スキー場のリフト故障により運営休止）について今後の対策と検討。
- 飯塚駅を中心とした開発、計画プランの説明を受ける。
- オートレース場横の栗尾工業団地の予定地視察、オートレース場観客席改修工事視察説明。

令和6年6月第2回議会

- 議案60号・・・筑穂地域工業団地用地の取得について審査を行いました。
- 議案61号・・・鯉田地区遊水池用地の取得について審査を行いました。

令和6年度 6月定例会 深町善文一般質問

令和6年6月17日飯塚市議会定例会で『飯塚市の防災行政無線について』『飯塚市の小学校・中学校の現状と今後について』質問しました。

質疑の中では防災行政無線の難聴地域の解消と、設置から15年を経過していることから更新の必要性を訴えました。また小中学校の現状と今後については、児童数の減少に伴う教員の適正配置、校区の見直しや学校の統廃合、学校施設の老朽化を見越した対応をとるよう要望しました。

《質疑の要約》

1、防災行政無線の難聴地域の解消と機器更新を要望

(深町) 防災行政無線の概要についてお聞きします。市内各地域には屋外拡声子局(スピーカー)は何ヶ所設置されていて、どのような場合放送されますか。また市内全域をカバーしていますか。

(回答) 本市では現在329基の設置となっています。「不定期」の市からのお知らせ、「定期」では正午と夕刻の時報を放送しています。尚、山間部においても、集落がある場所については全域をカバーしています。

(深町) 市民の方から、よく聞こえづらいとの声を聞きます。市の方ではそのような苦情はありませんか。

(回答) 防災無線が聞こえづらい、との連絡があります。そのような場合担当職員が現地に出向きテスト放送を実施。該当するスピーカーの音量確認などの対応をしています。

(深町) 自治会の中には独自に放送設備を所有しているところがあります。この自治会所有の有線放送設備は設置から相当年数が経っていて、故障や補修が多数あります。この修繕費用に対して、市から何か補助金などはありますか。

(回答) 自治会が設置した有線放送設備に対する補助制度はありません。市が各自治会に設置した防災行政無線を活用し、有効活用について検討いただきたいと考えております。

(深町) 防災行政無線は設置から15年を経過し、更新が必要な時期に来ているのではないかと。

(回答) 設置から年数が経っており、機器の故障も増えています。機器更新の方法やその時期は決まっていないが、検討を行ってまいります。

(深町) 更新時期には難聴地区の改善の為、スピーカーの増設を要望したいのですが、如何でしょうか。また更新までの間、自治会所有の放送設備の維持費用等の支援について検討してもらいたい。

(回答) 更新方法やその時期は決まっていないので明確な答えにならないが、今後の研究項目の一つとして考えることは可能です。尚、費用の増加も見込まれるが、設置から15年の間にスピーカーなどの機器の能力も向上していて費用対効果も含めた更新検討を行ってまいります。



2、飯塚市の小・中学校の現状と今後について

(深町) 飯塚市内には市立小学校が19校あるが、今後6年間に全児童数はどのように推移していくと考えていますか。

(回答) 令和6年度の6619人から令和11年には5671人となり約1000人減少の見込みです。

(深町) 6年後児童数が減るという事は教員は何人くらい減るのでしょうか。

(回答) 1教室35人で担任1人必要なので、単純な試算では教員は29人減るという事になります。尚、市立中学校は10校ありますが、生徒数は横ばい又は若干増の傾向にあります。

(深町) 現在本市には4つの施設一体型小中一貫校がありますが、今後新たな一貫校建設の計画や構想はありますか。

(回答) 平成22年の小中学校再編整備計画等で、策定して建設してきており、新たな一貫校建設の計画や構想はございません。

(深町) 学校設備の老朽化への対応についてどのように対応していますか。

(回答) 令和2年に策定した学校施設長寿命化計画に基づき大規模改造や改修を行い、学校施設の機能回復や機能向上に努めています。

(深町) 児童生徒数減少の根本的解決策は、まちづくり・地域おこしとして取り組んでいかなければならないが、児童数の減少や施設の老朽化については校区の見直しや学校の統合など、現状に即した対応をぜひ考えていただきたいと思います。

市政報告会を開催

令和6年9月27日(金)津原公民館で午後7時から市政報告会を開催。今回も昨年に引き続き、高田校区代表者に集ってもらい、実施しました。

報告会では武井新市長から示された令和6年度の施政方針について、『市長方針の中に「穂波西ICのフル規格化実現に向けて、今後とも取り組んでいきたい」という表明があった。今後とも令和11年には八木山バイパスは全線4車線化となり、あわせて穂波西ICのフル規格化の実現が待たれます。常に進捗状況を追いかけて皆さんの期待に応えたい』との報告を致しました。

地域に関連した案件としては①津原公民館裏山の急傾斜地災害対策が長年の懸案事項であったが、ようやく工事の目途が立ち令和6年度には2110万円の調査・設計予算が付いて現実味を帯びてきたこと。②久保白ダムから津原のポンプ施設に上水用と農業用水が配水されているが、この導水管の老朽化等から工事が令和6年10月中旬から始まる、との報告を行いました。

最後に『地域の課題は農業問題・環境問題・高齢化と過疎化等山積し、合わせて交通インフラの整備です。今後とも皆さんと一緒に進めたい』との決意表明を行いました。



八木山バイパス4車線化実現（篠栗IC～筑穂IC間）令和6年度中に工事完了

位置図：NEXCO西日本Webサイト参考



画像：北九州国道事務所より

料金徴収を行う区間 篠栗IC～穂波東IC約13.3km
料金徴収開始時期 篠栗IC～筑穂IC間の4車線化供用開始時
通行料金

※篠栗IC～筑穂IC間の4車線化工事は令和6年度中に完了しますが、実際の**営業開始は令和7年4月1日の予定です。**

軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	軽車両等
220円	280円	330円	450円	760円	30円

その後、地権者の変更が発生し、同意を頂く為に多くの時間がかかり、再三地権者との交渉を重ね、令和五年十一月、同意を頂き、一度はあきらめかけた工事でしたが、令和七年度から始まることになりました。長年の懸案事項にようやく目途が立ったことから、一日も早い時期の工事完了が待たれます。

令和二年に、その当時の津原自治会長から相談を受け、市長宛に要望書を提出。地権者の同意も得ることができ、飯塚市から県に案件が持ち込まれ、懸案であった公民館裏山の土砂災害対策に目途がたちました。

令和二年に、その当時の津原自治会長から相談を受け、市長宛に要望書を提出。地権者の同意も得ることができ、飯塚市から県に案件が持ち込まれ、懸案であった公民館裏山の土砂災害対策に目途がたちました。

津原公民館の裏山が急傾斜地であり、これまでも大雨のたびに小規模の土砂災害が発生していましたが、平成三十年の豪雨災害で裏山が大きく崩壊し、土砂が二軒の敷地に流れ込むなどの被害が発生しました。

津原公民館裏山 災害対策工事に目途



—— 暮らしの声を市政に届けます ——

飯塚市議会議員 ふかまち善文

〒820-0079 飯塚市高田654番地
TEL & FAX 0948-24-2926

